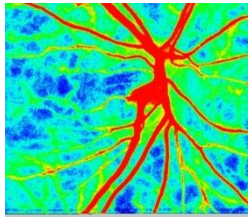


眼底血流画像化装置の多機能化とその製品化

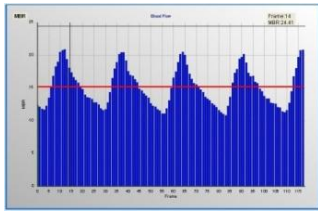
(株)久留米リサーチ・パーク、ソフトケア(有)、
長崎大学、東北大学、久留米大学、東邦大学医療センター佐倉病院

眼底血流と全身の血行動態が関連

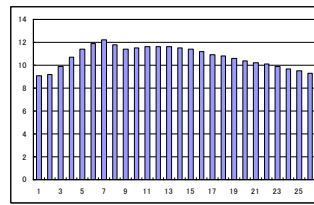
- 眼底血流画像化装置(レーザースペックルフローグラフィ【LSFG】)は、リアルタイムに眼底血流動態を把握できる世界でも類を見ない装置。
- 動脈硬化や糖尿病などの病態を表す様々な検査値と、LSFGから得られる血流値や血流波形を表す指標の幾つかが、強い相関。
- 主として内科での利用を考慮した新しい普及型装置の開発が急務。



眼底血流マップの例



眼底血流の経時変化測定例

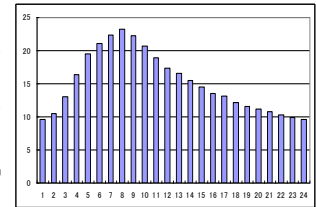


動脈硬化などの内科的要因によって、眼底血流波形が変化

動脈硬化

加齢

運動



眼撮影装置 LSFG-NAVI

内科向けに無散瞳で簡便に測定できるように改良

- 散瞳剤を点眼しなくても測定できるよう、適用可能な瞳孔径を短縮。
- 強度近視眼や網膜剥離眼でも極端な例を除いて測定可能。
- 測定中の瞬き検出機能や自動解析機能など操作性を向上。
- 2011年度後半には医療機器一部変更認証を取得し販売スタート。

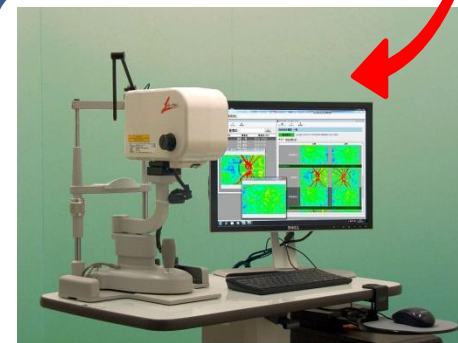
ソフトケア(有):高度なものづくり技術を活かした事業展開

九州工業大学藤居研究室で研究されてきた血流画像化技術を基に、新しい医療診断装置を開発・製造することを目的に設立された大学発ベンチャー企業。

高度な光学系ハードウェア設計・実装技術、ソフトウェア設計・実装技術を有す。

2007年にISO13485認証を取得し、2008年に医療機器 LSFG-NAVI を世に送り出す。

内科向けへの販路拡大と海外展開に向けての準備も進行中。(福岡県福津市 資本金:300万 社員数:10名)



最新型 LSFG-NAVI

**事業終了後も開発を継続
既に6施設に導入済**